

当院における、持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション治療の有効性・安全性に関する検討のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年1月6日～2025年3月31日

〔研究課題〕

当院における、持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション治療の有効性・安全性に関する検討

〔研究意義・目的〕

高齢社会と共に心房細動という病気が増加しています。心房細動とは不整脈の一つで、心房が小刻みに動き、けいれんするような病態を指します。それにより心房に血栓ができやすくなり、その血栓が肺に飛び脳梗塞を起こすことや、息切れや浮腫が起こり心不全と呼ばれる病態に至ることもしばしば経験します。近年心房細動に対するカテーテルアブレーション治療が盛んに行われています。

発作性心房細動に対するカテーテルアブレーションの有効性・安全はすでに確立されていますが、持続性心房細動に対する実際の有効性・安全性は一部の施設からの報告に限られているのが現状です。

本研究では、帝京大学医学部附属病院で心房細動アブレーションを受けた患者さんの治療データを収集・解析し、持続性心房細動に対するアブレーション治療方法の有効性と安全性を評価することを目的として行います。

〔対象・研究方法〕

2014年4月1日から2020年12月1日までの診療記録（年齢、性別、既往歴、心房細動およびカテーテルアブレーションに関する情報など）を基に調査が行われます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 循環器内科

〔個人情報の取り扱い〕

収集された情報は、当院にて厳重に管理され、それを必要とする者のみ閲覧することができます。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。したがって患者様の医療記録に関する秘密は守られます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 渡 雄至 (内科学講座 講師)

研究分担者: 加藤 政彦 (内科学講座 准教授)

太田 龍哉 大学院医学研究科 大学院生

上妻 謙 内科学講座 教授

横山 直之 内科学講座 准教授

宮川 睦喜 内科学講座 助教

住所: 東京都板橋区加賀 2-1-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) (内線 30415)